



ORCAの現状

ORCA: Online Receipt Computer Advantage
(進化型レセプトコンピュータ)

日本医師会総合政策研究機構
主任研究員 上野 智明



ORCAプロジェクトとは

- 日本医師会の「医師会総合情報ネットワーク構想（1997年～）」の一環として2000年4月より開始された研究事業プロジェクト
- プロジェクトのメインコンテンツである「**日医標準レセプトソフト**（以下、日レセ）」はメーカー製と遜色のない仕上がりとなり、報告されたユーザだけで8,000医療機関を超えた（2010年1月）
- オープンソース（公開ソフトウェア）

電子請求にも標準で対応済み

ORCAプロジェクトの視点

- ・ネットワーク

IT時代の皆保険制度のインフラ

- ・標準化

オープンソース

- ・医療政策とEBM

データ収集

- ・会員サービス

医業経営の支援

経営環境の悪化<>情報化投資



方針

医療機関経営環境が悪化するなか、良質な医療を継続的に提供できるよう、医師や医療機関内部の情報化、そして医療機関同士の情報交換を支援する

日医のレセコンの普及＝新たなる医療情報の基盤

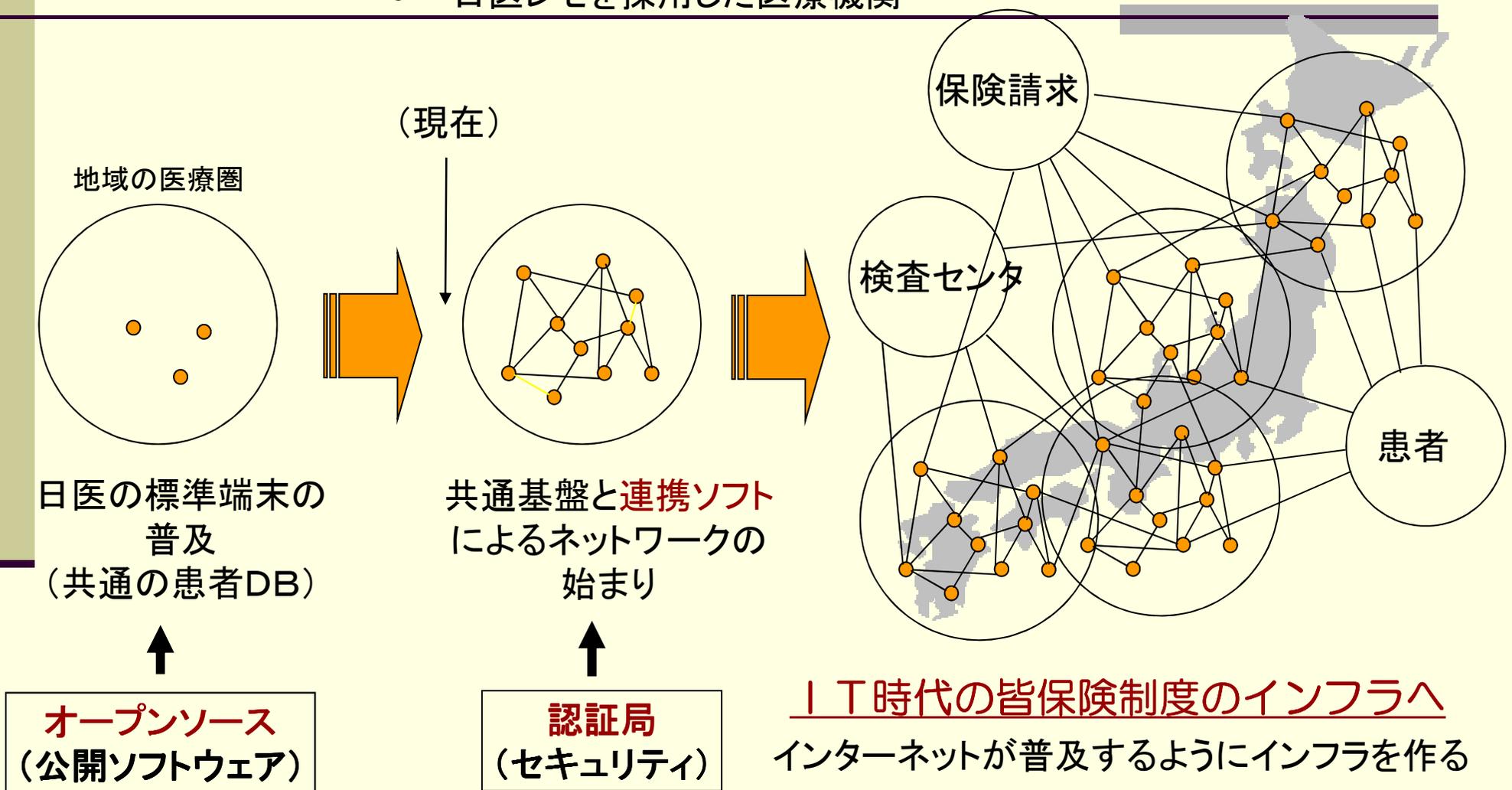
日医IT化宣言 (2001.11.20)

於 東京プリンスホテル

日本医師会は、医療現場のIT化(情報技術)を進めるため、土台となるネットワークづくりを行うことを宣言します。まず、各医療現場に標準化されたオンライン診療レセプトシステムを導入し、互換性のある医療情報をやりとりできるようにする計画(ORCA , Online Receipt Computer Advantage)を推進します。この計画のために日医が開発したプログラムやデータベースは全て無償で公開されます。医療現場の事務作業の効率化を図り、コストを軽減させると同時に、誰もが自由に利用できる開放的なネットワークを形成し、国民に高度で良質な医療を提供することをめざします。

ネットワークのシナリオ

● = 日医レセを採用した医療機関



ORCAプロジェクトを含むIT化推進に関する方針

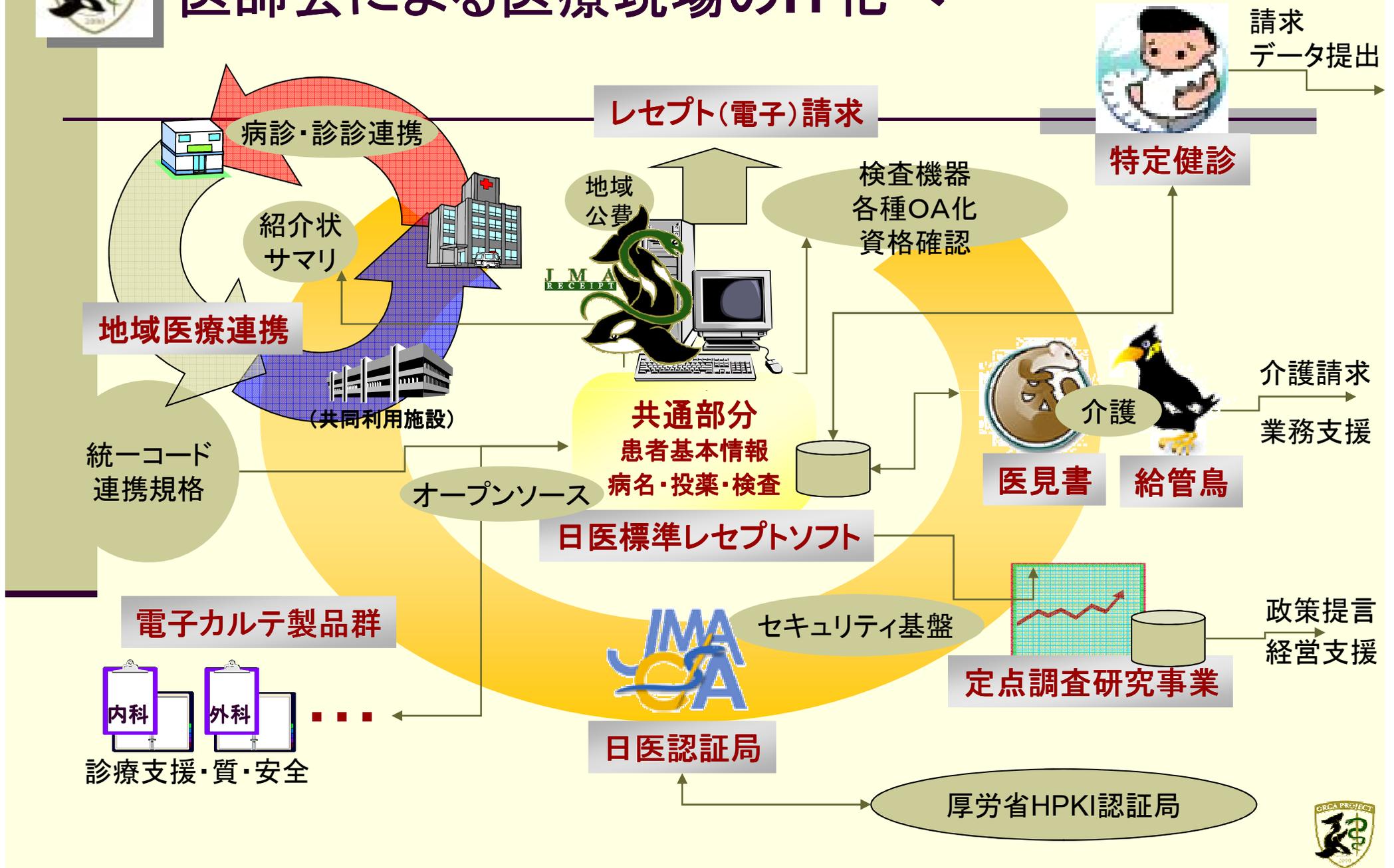
(2006年5月23日 日医記者会見)

- 日本医師会はORCAプロジェクトを通じ、医療現場のIT化を推進します
 - ORCAプロジェクトのレセコン(日医標準レセプトソフト)利用医療機関を1万ユーザに拡大します(2011年)
- 患者個人情報を含まない日医独自のデータベースを構築します
 - 国民に高度で良質な医療を提供することを目指すとともに、公正な医療政策への提言に役立てます





医師会による医療現場のIT化へ



稼動状況

2010-04-15現在

導入医療機関数

総計 **9945** 施設

稼動レベル1 (日レセのみで運用) **8800** 施設

稼動レベル2 (導入作業中) **1145** 施設

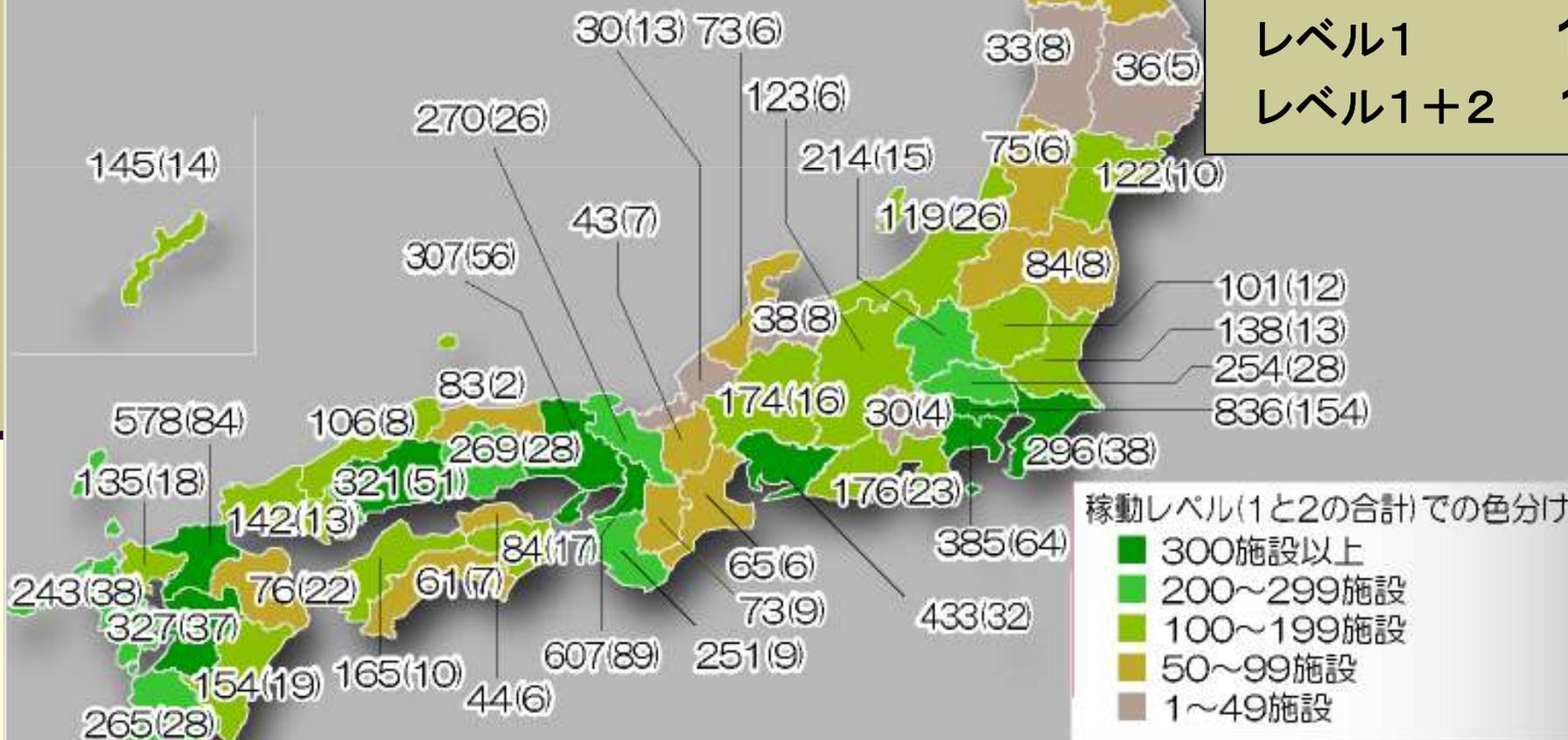
稼動レベル3 (導入検討中) **498** 施設

【シェア・導入率】(4月)

◆全国レセコン利用医療機関に占める割合

レベル1 **10.2%**

レベル1+2 **11.5%**

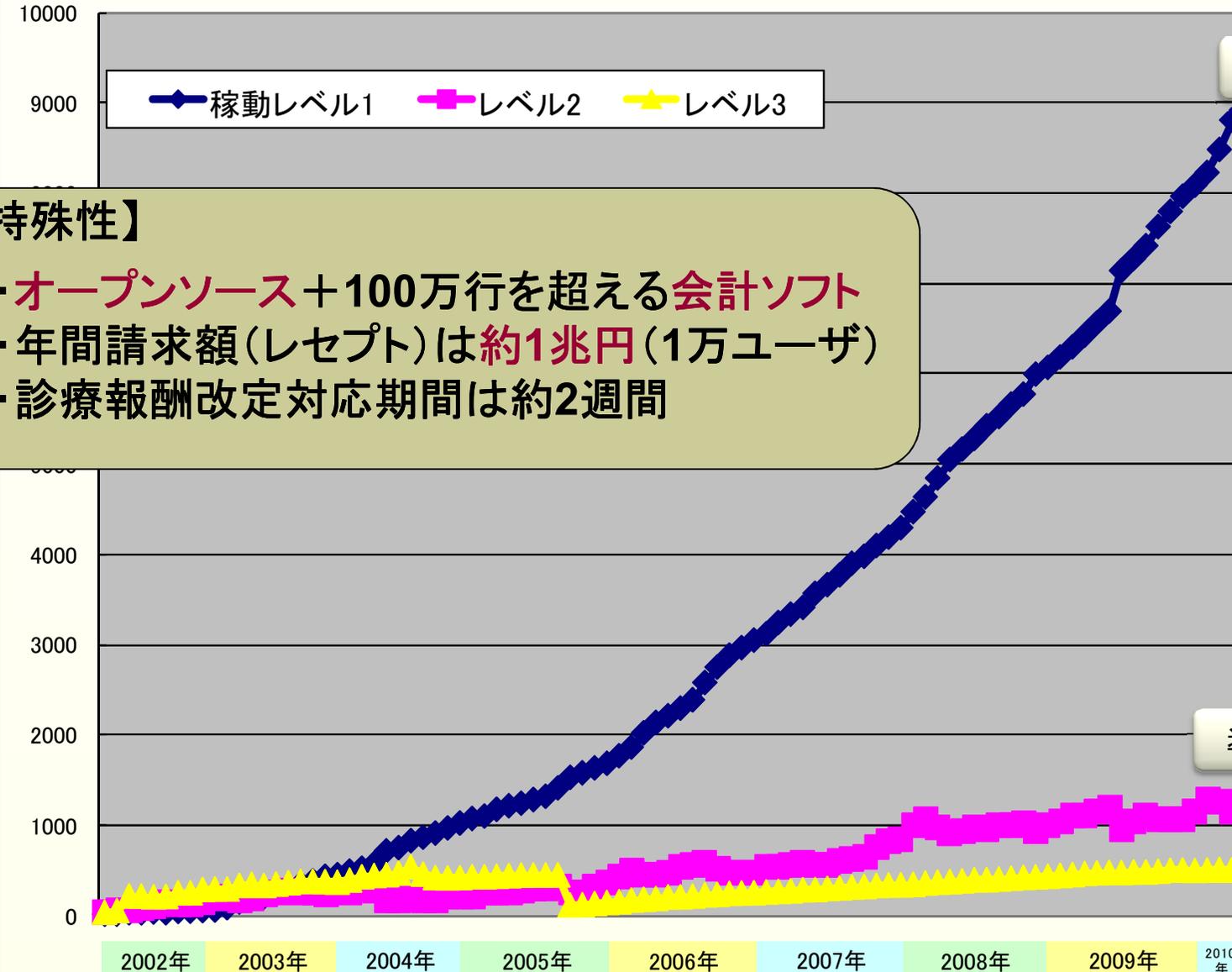


各都道府県の数値...稼動レベル1(稼動レベル2)日医総研に正式に報告のあった医療機関の数のみを掲載



日レセ稼働状況(時系列 2002年5月~2010年4月)

医療機関



稼働中...8800件

【特殊性】

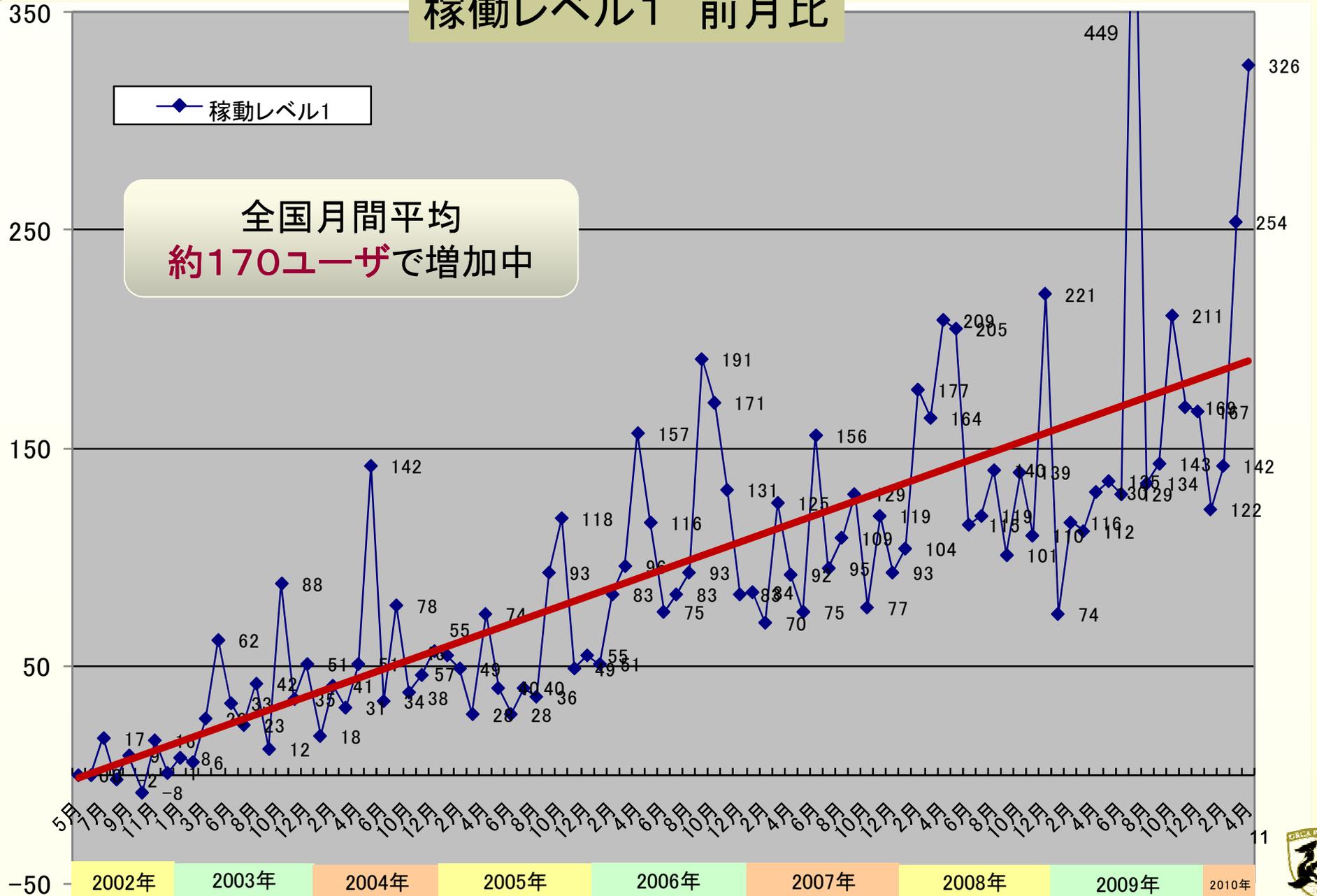
- ・オープンソース+100万行を超える会計ソフト
- ・年間請求額(レセプト)は約1兆円(1万ユーザ)
- ・診療報酬改定対応期間は約2週間

導入作業中...1145件

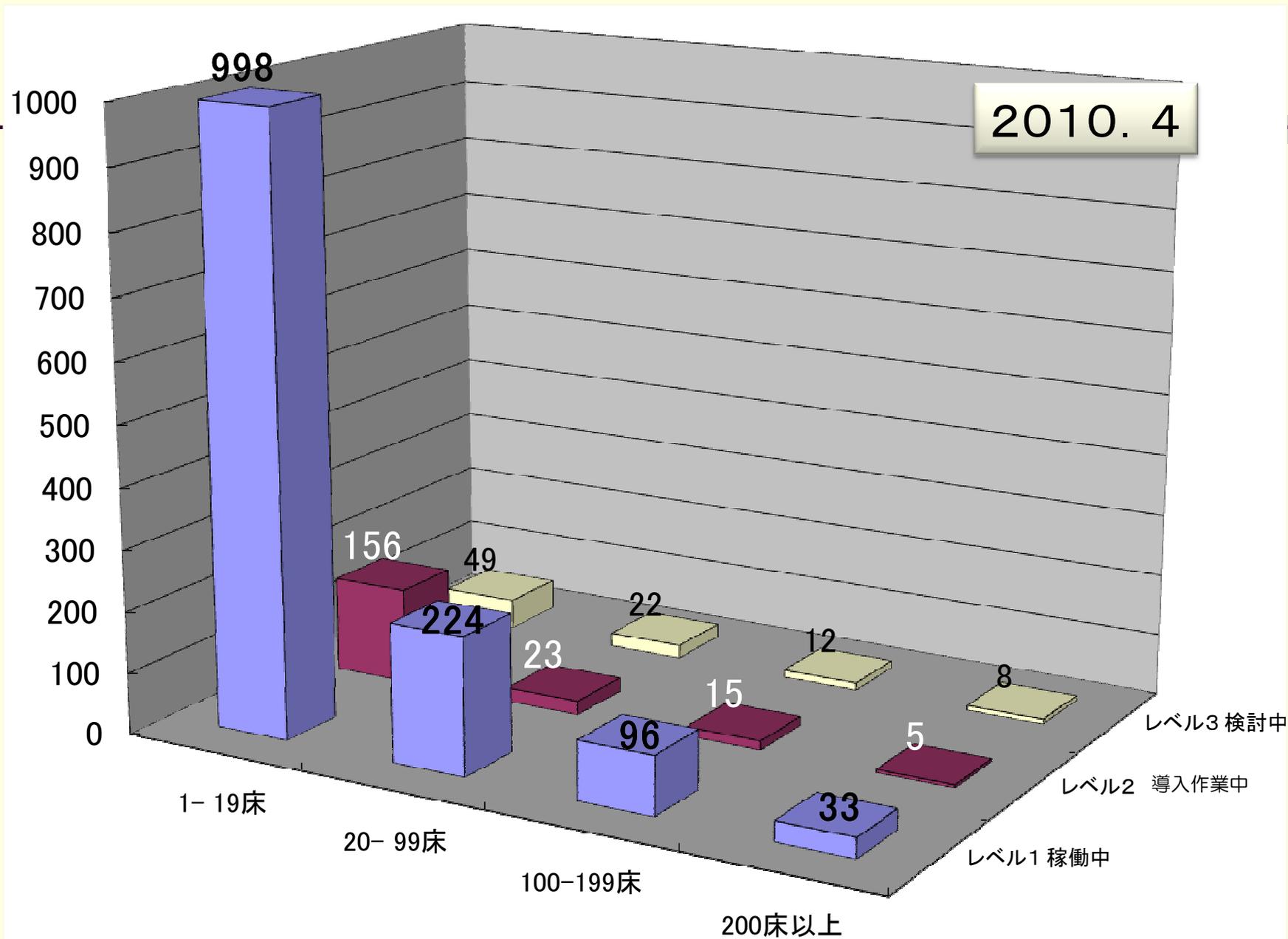
検討中... 498件



稼働レベル1 前月比



有床版導入件数(病院:稼働中353病院／導入中43病院)



内服薬処方せんの記載方法の 在り方に関する検討会について

■ 検討会報告書(厚生労働省のWebサイト)

- <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/01/s0129-4.html>

フロモックス錠100mg 3錠
メジコン錠15mg 3錠
ムコソルバン錠15mg 3錠
1日3回毎食後 7日分

フロモックス錠100mg 1回1錠
メジコン錠15mg 1回1錠
ムコソルバン錠15mg 1回1錠
1日3回 朝昼夕食後 7日分

プレドニン錠 (5mg) 7錠 (4-2-1)
分3 毎食後7日分

プレドニン錠5mg 1回4錠1日1回 朝食後 7日分
プレドニン錠5mg 1回2錠1日1回 昼食後 7日分
プレドニン錠5mg 1回1錠1日1回 夕食後 7日分

■ 日レセの対応について

- 原則として、日レセの対応については検討中とし、2年以内の対応は行わない。

内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会について

■ 理由

- 平成22年度診療報酬改定の中医協答申においても、本件は議論にすらあがっていない。(官報告示についても同じ)
 - 診療録等の記載上の注意事項(抜粋) 別添2
 - 7「処方」欄について(2)
 - 分量は、内服薬については1日分量、内服用滴剤、注射薬及び外用薬については投与総量、屯服薬については1回分量を記載すること。

平成22年3月5日『保医発0305第13号「診療報酬請求書等の記載要領等について」の一部改正について』より

- レセコンにおいて、処方入力は診療報酬の点数計算と密接に関係しており「記載方法の在り方」にある記載方法を採用した場合、剤のカウントや薬剤料の計算や患者向けの帳票作成ロジック等に多大な影響を及ぼす可能性が高い。
 - 「記載方法の在り方」に「2～3年のうちに中間評価を行う。」とあり、「遅くとも5年後に、対策について再検討する。」とある。いそいで対応しても見直しにより再度変更される可能性がある。

ORCA(日レセ)出現の影響

■ レセコンの市場価格

- ORCAプロジェクトの効果により、メーカー製レセコンの市場価格は大幅に下落した

■ 電子カルテ

- 電子カルテの開発が活発になり、新しく開発されるものの多くがORCA連動型電子カルテ
- 既に20社を超える(待てば待つほど安くて良いモノが)

■ レセコン業界に占める位置

- 非営利組織のソフトがレセコン業界の第3位グループに
 - これまでに類のないスピードで普及中
 - レセコンは既にリプレース市場。5~8年で買い換えるため、通常は爆発的に普及するものではない

Dolphin/Wine ↔ ORCA の成功(2001-11-01)

於 日医総研6F会議室

ORCAのシステムとDolphin、Wineのシステムをネットワーク接続し、データの送受信を検証



1. 受付情報の伝送 (ORCA→Dolphin, Wine)
2. 電子カルテからオーダー情報 (CLAIM情報) の伝送
(Dolphin, Wine→ORCA)
3. ORCAから電子カルテへCLAIM点数金額モジュールの伝送
(ORCA→Dolphin, Wine)

(当時の検証報告: 報告者不明)

Dolphin/Wine ↔ ORCAの成功は、アプリケーション間の連携(粗結合)を実証したことになるが、これは今後の製品開発に多大な影響を与えることになるだろう。電子カルテベンダーはCLAIMインターフェイスを実装することによって、多様なレセコンと接続が可能となる。レセコンベンダーも同様の事が言えるわけで、ビジネスの枠組みを変えてしまうことになる。

選択できる電子カルテ(22種24社)

日医標準レセプトソフトと連携して運用可能な電子カルテ

2009年10月

- [DOCTOR'S DESK II\(株式会社シー・エム・エス\)](#)
- [アーチャカルテL\(株式会社アップドクター\)](#)
- [WAVEカルテ\(株式会社 エヌ・ウェーブ\)](#)
- [e-医キット mRec\(株式会社久保田情報技研\)](#)
- [MALL \(Medical Information System for ALL\)\(有限会社パシフィックシステム\)](#)
- [Dr.BoarD\(株式会社メディコール・ジャパン\)](#)
- [Wine Style\(キワム電腦工務店\)](#)
- [Aits Karte\(有限会社エイトス\)](#)
- [電子カルテWINE STYLE\(株式会社SJ\)](#)
- [電子カルテe-Clinic\(株式会社ポテト\)](#)
- [REMORA\(株式会社ビーエスシー\)](#)
- [RACCO\(システムロード株式会社\)](#)
- [電子カルテ Dr.CREDO\(株式会社クレドメディカ\)](#)
- [診療所向け電子カルテ FutureClinic21 \(東日本電信電話株式会社\)](#)
- [手書き電子カルテ「Dr.Pen Lite」\(オーダーメイドソリューションズ株式会社\)](#)
- [MICS Carte\(株式会社アイレックス\)](#)
- [IZANAMI\(株式会社コア・クリエイトシステム\)](#)
- [m-WAVE\(株式会社デジタル・オフィス\)](#)
- [@homeDr.「アットホームドクター」\(株式会社ファルコバイオシステムズ\)](#)
- [OpenDolphin「オープンドルフィン」\(株式会社デジタルグローブ\)](#)
- [OpenDolphin「オープンドルフィン」\(株式会社グッデイ\)](#)
- [UniCare/診療所カルテ\(日本ユニシス株式会社\)](#)
- [DS KARTE\(大新技研株式会社\)](#)
- [Medical Studio\(NDソフトウェア株式会社\) **NEW**](#)

予言通り

「ORCA オルカ」商標について

- 商標権者 (社)日本医師会

- 第9類

- 計算用又は情報処理用の機械器具など
- 登録日 平成21年5月15日

- 第42類

- 電子計算機又はソフトウェアの設計及び開発など
- 更新登録日 平成20年6月24日

OSの変更について

■ Debian GNU/Linux

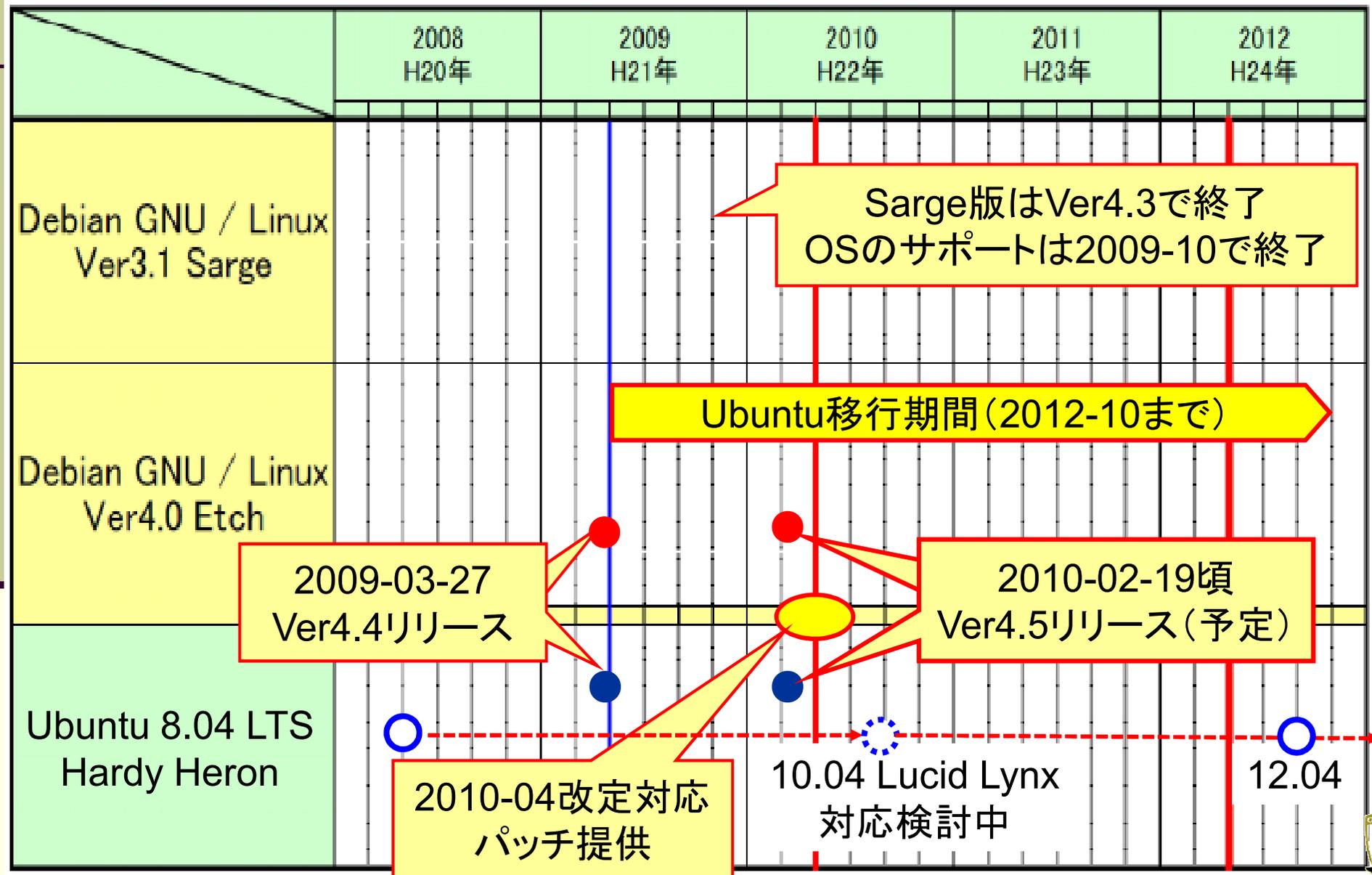
- バージョンアップ時期が不定期
- 旧バージョンのセキュリティ対策(オフィシャル)が1年間
- 追隨して医療機関のアップデートが必要
- 作業費用の問題



■ Ubuntu

- Debian ベースのLinux
- 資産が無駄にならない
- 2年おきに出るLTS版では5年間のサポートを維持

日レセのリリースについて



オンライン請求用パソコン動作環境

平成22年3月1日現在

【基本ソフト・ブラウザ】 ○を表示している基本ソフト(OS)・ブラウザの組合せが動作環境となります。

分類	基本ソフト(OS)	ブラウザ	利用者					開始時期 (請求開始) *
			医療機関 (医科)	医療機関 (歯科)	薬局	事務代行者	保険者	
Windows	Windows 2000 sp4	Internet Explorer 5.5 sp2	○	○	○	—	○	H19. 04~
	Windows Server 2003 sp2	Internet Explorer 6.0 sp2	○	○	○	—	○	H20. 12~
		Internet Explorer 7.0	○	○	○	—	○	H20. 12~
		Internet Explorer 8.0	○	○	○	—	○	H22. 03~
	Windows XP sp2	Internet Explorer 6.0 sp2	○	○	○	○	○	H19. 04~
		Internet Explorer 7.0	○	○	○	○	○	H20. 10~
		Internet Explorer 8.0	○	○	○	○	○	H22. 03~
	Windows XP sp3	Internet Explorer 7.0	○	○	○	○	○	H20. 12~
		Internet Explorer 8.0	○	○	○	○	○	H22. 03~
	Windows Vista	Internet Explorer 7.0	○	○	○	○	○	H20. 02~
		Internet Explorer 8.0	○	○	○	○	○	H22. 03~
	Windows Vista sp1	Internet Explorer 7.0	○	○	○	○	○	H20. 12~
		Internet Explorer 8.0	○	○	○	○	○	H22. 03~
Windows Vista sp2	Internet Explorer 8.0	○	○	○	○	○	H22. 03~	
Windows 7 ※「Starter」エディションを除く。	Internet Explorer 8.0	○	○	○	○	○	H22. 03~	
Linux	Debian GNU/Linux 3.1 (Linux Kernel 2.6)	Mozilla Firefox 2.0	○ ※1	—	—	—	—	H19. 10~
	Debian GNU/Linux 4.0 (Linux Kernel 2.6)	Iceweasel 2.0	○ ※1	—	—	—	—	H20. 10~
Linux	TurboLinux 8 Workstation (Linux Kernel 2.4)	Mozilla Firefox 2.0	○ ※2	—	—	—	—	H20. 09~
	TurboLinux 10 Desktop (Linux Kernel 2.6)	Mozilla Firefox 2.0	○ ※2	—	—	—	—	H20. 01~
Mac	Ubuntu 8.04 (Linux Kernel 2.6)	Mozilla Firefox 3.5	○ ※1	—	—	—	—	H22. 03~
	Mac OS X v10.5 Leopard	Safari 4	○	○	○	—	○	H22. 03~

※1 日医標準レセプトソフトが対象。

※2 SANYO製レセコンが対象。

* オンライン請求において対応可能となった時期

...平成22年3月請求(2月確認試験)~対応開始

【CPU・メモリ】 基本ソフト(OS)・ブラウザが動作する環境であれば使用可能。 【CDドライブ】 支払基金から無償で配布する送(受)信用ソフトがCD-Rのため必要。

【画面解像度】 1,024×768 以上推奨 【ディスク容量】 送(受)信用ソフトインストール時 1GB以上推奨。(保険者の場合、受信データを格納する容量が必要。1件あたり約52KB。)

公式サイトのリニューアル

- 認定事業所検索サイト(済)
 - 業者別サポート範囲の精緻化(気象庁:天気予報区分)
 - 自院郵便番号による検索
 - 検索結果のMap表示
 - 携帯電話からの検索
 - 認定事業所の評価(★★★★☆)準備中
- 日レセWebマニュアル
 - 鋭意作業中
- リンクなどの整理(4月改定後作業)
 - ソフト紹介(導入前)とユーザ(導入後)に分類
 - CMS(Content Management System)の導入



ソフトの特長

ユーザ事例

導入までの流れ

体験・説明会

導入相談

サポート事業所検索

ホーム

お近くのサポート事業所を検索します。

サポート事業所検索システム

お近くのサポート事業所をお探しの方は、サポート地域または郵便番号を入力して検索してください。

サポート地域で探す

郵便番号で探す

郵便番号: (例: 123-4567)

事業所までの距離: km

事業所の種類:

地図を表示しない

検索

■ 日医IT認定サポート事業所一覧は、下記PDFをご確認下さい。

[日医IT認定サポート事業所リスト\(2010-02-01時点\) \[PDF\]](#)

[詳しい使い方の説明はこちら](#)



検索結果

10 件の所在地 — 地図上のマーカーをクリックすると該当事業所の情報をご覧になれます。



日レセによるデータ収集

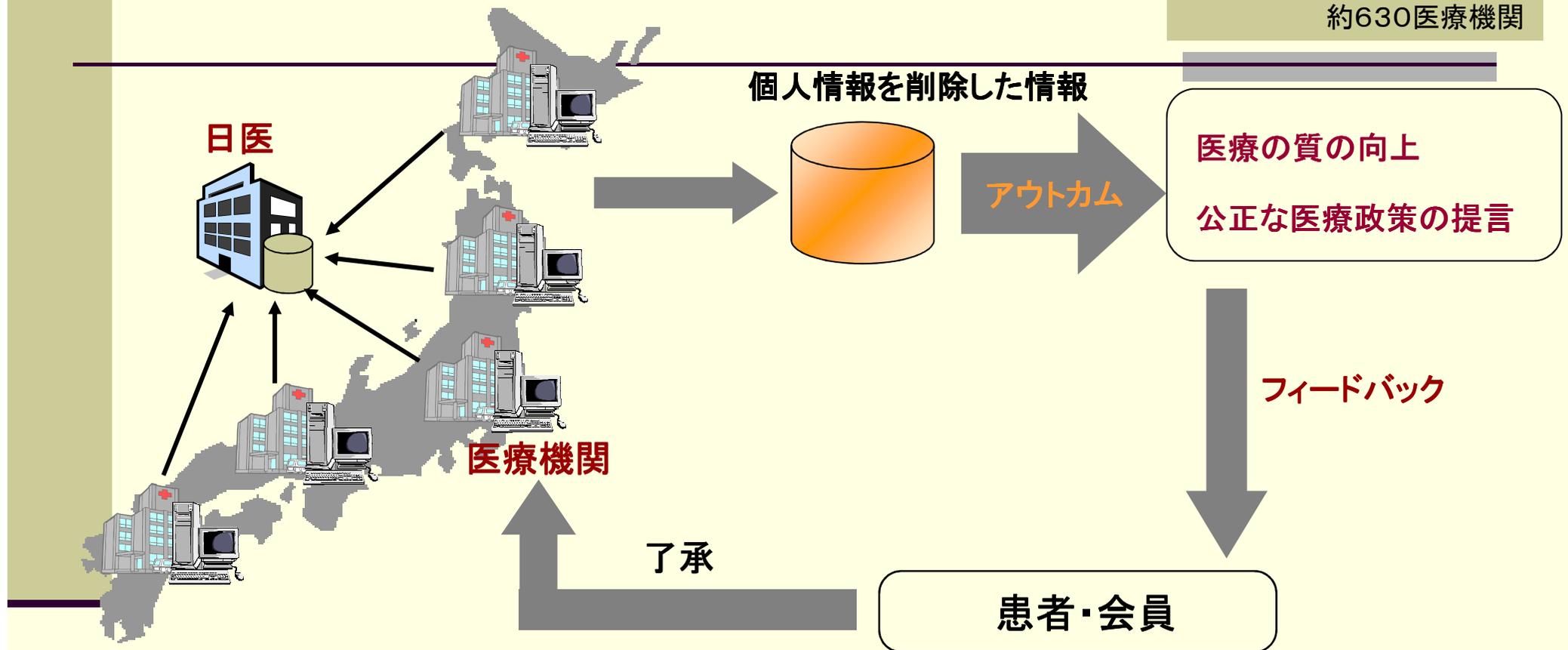
ORCA
プロジェクト
初期のスライド

レセコンの進化がもたらすもの

- ① 最新データによる併用禁忌薬のチェック等の 診療支援
 - ② 感染症情報・緊急安全性情報などをリアルタイムに把握
 - ③ 日本国民のための 統計データの収集
 - ④ 請求事務の効率化
 - ⑤ 経営支援
 - ⑥ 診療報酬体系を再構築する資料
- 電子カルテと組み合わせて —
- ⑦ スムーズな 病診連携、紹介システム
 - ⑧ 的確な 患者説明の支援
 - ⑨ 日本国民に最適な EBM情報の抽出
 - ⑩ 救急医療・災害時のセーフティネットワークの形成

定点調査研究事業(2008年2月より参加募集開始)

(2010年4月現在)
参加申込み数:
約630医療機関



- 医療機関の手挙げ参加方式
- 患者個人を特定できる情報は収集しない
- 電子認証の仕組みを利用しセキュリティを確保
- 医療機関のプライバシーに関しては厳しく守秘する

<http://www.orca.med.or.jp/das/>

参加募集中



3. フィードバック資料の詳細

3.1. 患者分布および基本統計: 患者分布

見開き左ページに掲載される内容について、以下の図に簡単に解説します。

「フィードバック 2 患者分布および基本統計」ではこのページの集計対象の地域・診療科も表示

このページの集計対象月



1. 2009年4月診療分

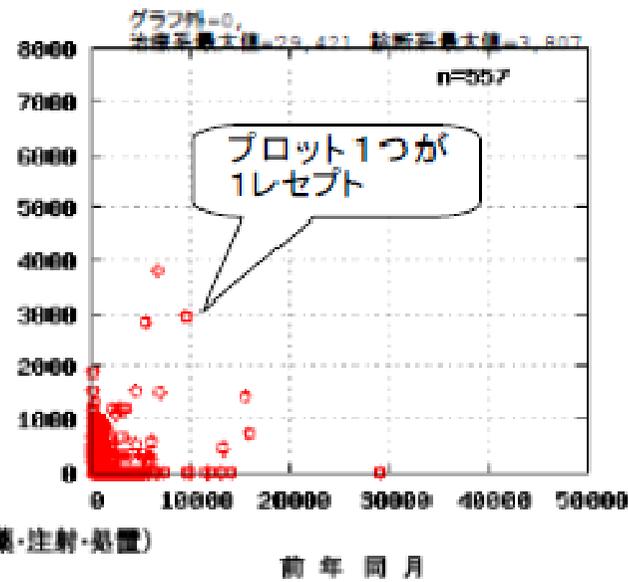
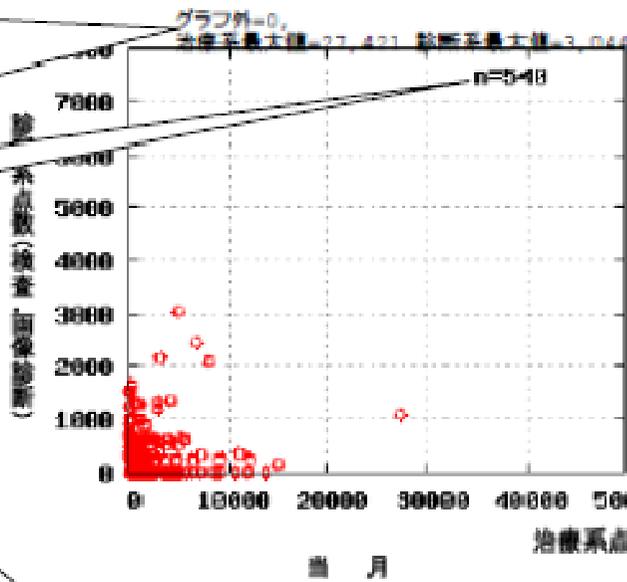
1.1. 患者分布

「グラフ外」は散布図のエリアから外れたレセプトの数。「治療系最大値」および「診断系最大値」は、散布図の対象となるレセプトについて、それぞれの最大値。

散布図に含まれるレセプトの合計

「フィードバック 2 患者分布および基本統計」ではこのページの表示集計対象となる医療機関数を表示

集計対象の主要 3 要素



1.2. 基本統計

治療系点数が0点のレセプト数

	当月	前年同月	増減
治療系点数が0点のレセプト数	540 件	557 件	▲3.1% %



定点調査研究事業の仕組みを利用した

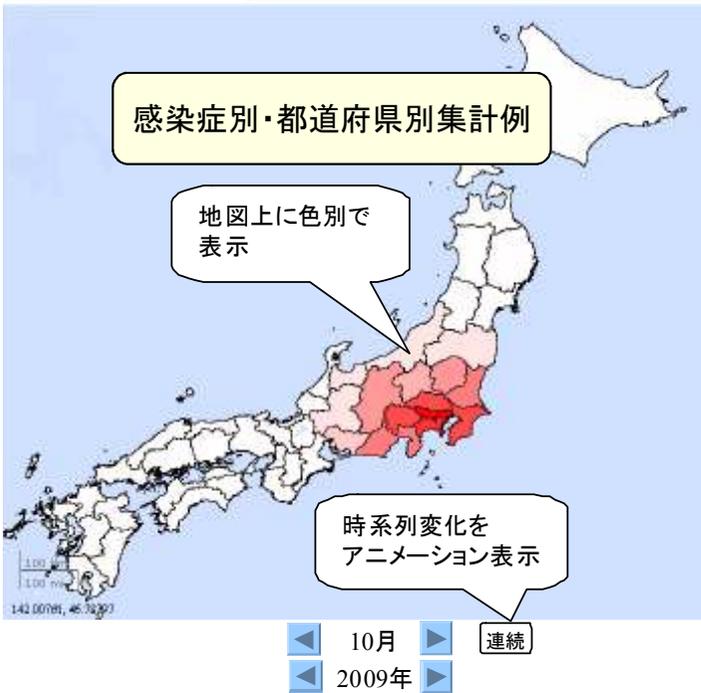
感染症サーベイランスへの取組み

自動
毎日の特
別な操作
は必要なし

- 日レセへの**検査の入力**、投薬、傷病名などに着目し、**疑い症例**の地域的な集積を探知する手法
- 新型インフルエンザを含め、感染症をより早期に探知し、ほぼ全自動で24時間以内に地域の関係者で情報共有を行う
- 感染症マップのweb公開方法・範囲などについて現在検討中
- 現在はインフルエンザのみ。来年度より対応病原体を拡大

アイデア
募集
感染症以外
にも活用可
能

月次レセプトデータも含め、最終的には、地域医師会が主導権を持って、地域医療の情報化に活用できるような仕組みが目標



感染症マップの例(開発中)

全体表示 年代別表示 地域別表示 年表示

地図 航空写真 地図+写真 地形

マークをクリックする事により詳細データを表示

感染者数: 34
累計感染者数: 124

参加医療機関の近傍に感染者数を円の大きさで表示

感染症別
関係者向け詳細マップ例
(参加医療機関単位集計例)

感染症別
グラフ表示バリエーション例(年代別・地域別 etc..)

2009年

Powered by Web Cyber Framework (Cyber Laboratory Inc.)

介護・特定検診

(2010年1月現在)



医見書 (主治医意見書・訪問看護指示書・医師医見書作成支援)

- <http://www.orca.med.or.jp/ikensyo/index.rhtml>

19,682ユーザ

(ダウンロードユーザを除く)



給管鳥 (給付管理・介護報酬請求支援)

- <http://www.orca.med.or.jp/kyukantyo/index.rhtml>

1,725ユーザ

(ダウンロードユーザを除く)



訪看鳥 (訪問看護ステーション専用 請求支援)

- <http://www.orca.med.or.jp/kyukantyo/index.rhtml>

273ユーザ

(ダウンロードユーザを除く)



日医特定健康診査システム (特定健診 電子請求支援)

- <http://www.orca.med.or.jp/kyukantyo/index.rhtml>

700~800
ユーザ

(ダウンロードユーザのみ)

ダウンロード可 (公開済み: 無料)

インストーラ付CD + マニュアル + サポート (有償) ※

※日医特定健康審査システムを除く



医見書

「主治医意見書」作成支援ソフト

- 介護保険の介護保険制度において二次判定の指標となる「主治医意見書」の作成を支援するソフトウェアです
- 障害者自立支援法における「医師意見書」の作成も可能です
- 訪問看護指示書や点滴指示書の作成も可能です
- 「日医標準レセプトソフト」をお使いの場合は、患者基本情報を取り込むことができます

OS: Windows XP Service Pack 3
VM: Sun Microsystems Inc. 1.4.2_10
Firebird: YH-V6.3.3 (398) Firebird 2.0

Information

- 2008.02.06 郵便番号データ更新情報
- 2008.04.04 最新アップデート情報 (Ver3.0.0)
- 2008.03.05 PowerPC搭載Macintosh上のデータベースに対するVer3.0.0の不具合について

その他の情報は、ウェブブラウザにてORCAプロジェクト公式サイトを御覧ください。
ORCAプロジェクト公式サイト: <http://hho.nu/ocp/ocp.html>

主治医意見書 記入日 平成20年10月16日

戻る(B) 主治医意見書 氏名 日医太郎 更新(S) 印刷(P)

申請者	備考	特記事項・請求	医療機関			
心身の状態1	心身の状態2	生活様式1	生活様式2	生活様式3		

3. 心身の状態に関する意見

日常生活の自立程度について
障害高齢者の日常生活自立度 (あたり度) 自立 J1 J2 A1 A2 B1 B2 C1 C2

認知症高齢者の日常生活自立度 自立 I IIa IIb IIIa IIIb IV M

認知症の中核症状 (認知症以外の疾患で同様の症状を認める場合を含む)
短時間覚醒 覚醒なし 覚醒あり

日常の意思決定を行うための認知能力 自立 いくらか困難 見守りが必要 判断できない

自分の意思の伝達能力 伝えられる いくらか困難 具体的援助に限られる 伝えられない

認知症の周辺症状 (認知症以外の疾患で同様の症状を認める場合を含む)
 無 有
 幻視・幻聴 妄想 昼夜逆転 暴言 暴行 介護への抵抗 徘徊 火の不始末
 不潔行為 異食行動 性的異常行動 その他 ()

その他の精神・神経症状
 無 有
(有の場合) → 専門医受診の有無 有 無 (15文字以内) 無

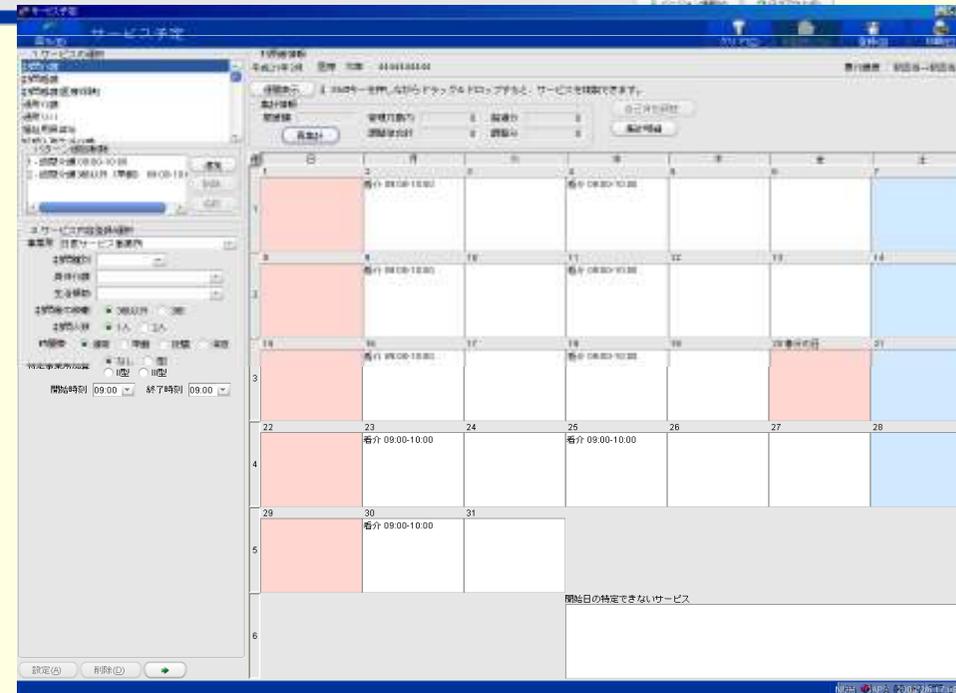
主治医意見書 NJM CAPS 2008/26 17:09



給管鳥

介護報酬請求ソフト

- 医療機関の介護保険の請求業務を支援するソフトウェアです
- 居宅療養管理指導や訪問リハビリをはじめ、介護療養型医療施設など介護保険の全サービスに対応しています
- 「居宅療養管理指導」では、請求はもちろん、利用者及びケアマネージャへの情報提供書を作成できます
- 「日医標準レセプトソフト」をお使いの場合は患者基本情報を取り込むことができます

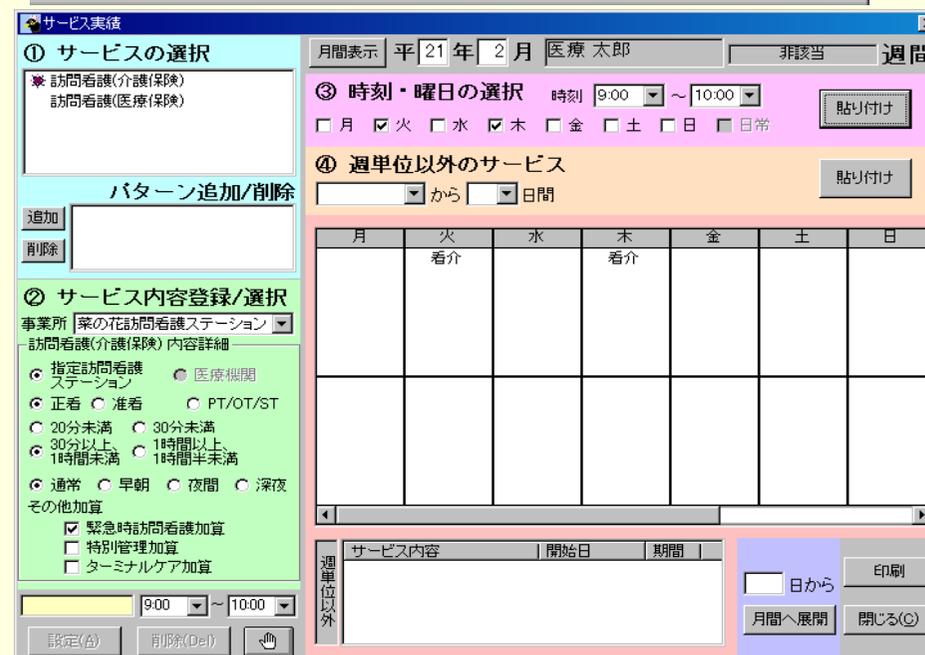
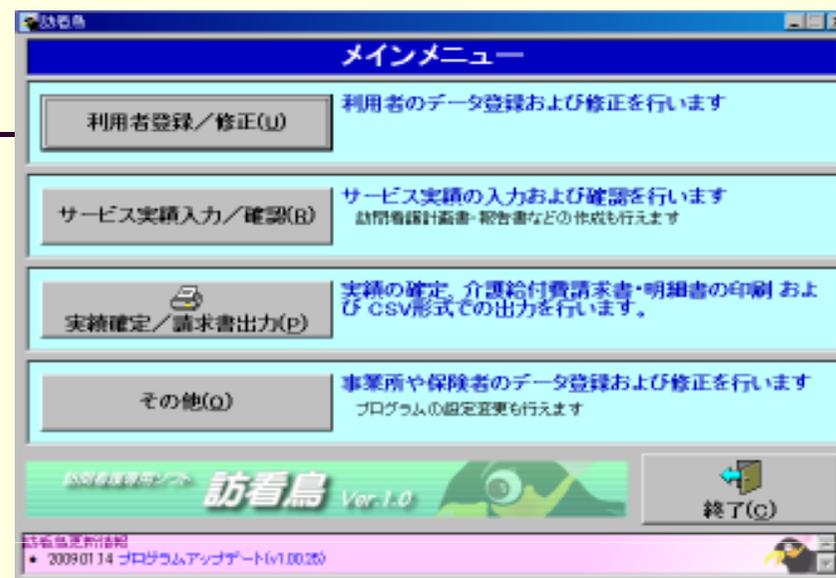




訪看鳥

訪問看護ステーション専用のソフトウェアです

- * 医療保険・介護保険、どちらにも対応しています
- * 利用者情報の管理・訪問実績の管理から、請求情報の作成、さらに各種報告書の作成も行えます
- * 週単位または日単位での簡単な入力作業のみで請求情報が作成できます
- * 利用者への請求書・領収書の作成ができます





日医特定健康診査システム

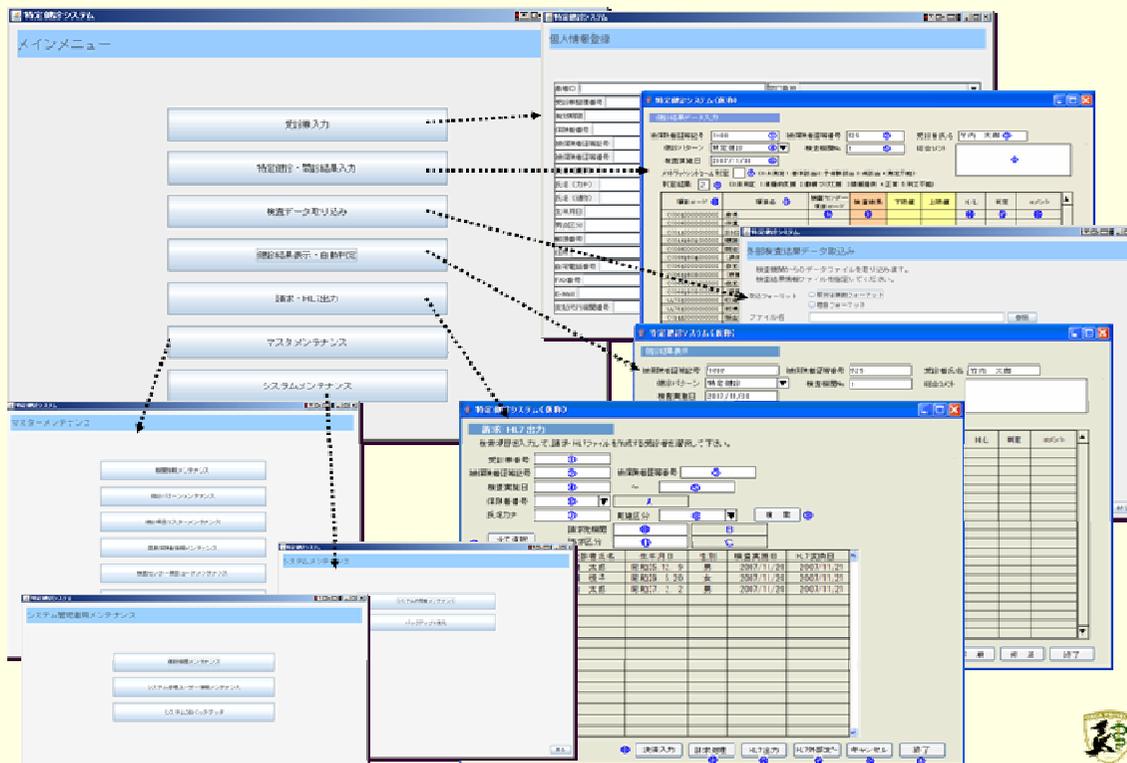
特定健診用ソフト

特定健康診査(平成20年度施行)での健診ならびに決済データの提出に対応したソフトウェアです

支払基金の接続試験、国保中央会のベンダテストに合格済みです

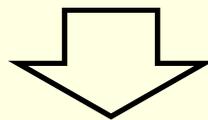
日医標準レセプトソフトがあれば、患者基本情報を取り込むことができます

昨年11月に、日次処理、月次処理別に画面を分けるなど、業務フローを大幅改善しています



日医認証局の本格展開について

1. これまでは日医認証局の整備（システムの構築、厚労省に対して法律の整備等）を推進してきた
 - 認証局の開始時期（2002年頃）は、医療現場のIT化の整備がこれから始める段階。
 - ORCAプロジェクトは「現場のIT化」を進めるプロジェクト。
 - 認証局の整備を先に進めることで、インフラの主導権を獲得することを優先させてきた。
2. 行政や現場のIT化が一定程度進み日医認証局の必要性が高まってきた
 - 政権交代が起きた後も、医療のIT化は止まっていない（新たな情報通信戦略の策定）。
 - 地域医療再生基金でのIT利用、行政等が実施する医療施策、現場の電子カルテ導入率の延び等、現場のIT化が進んできた。
3. 再びオンライン請求義務化の様な施策を打ち出させない必要がある
 - 善し悪しは別として、オンライン請求の義務化施策は、現場のIT化を進めた。
 - 認証局の必要性が高まって来ている中で、日医が動かなければ、また別の所から義務化のような手立てを打たれる可能性はゼロではない。

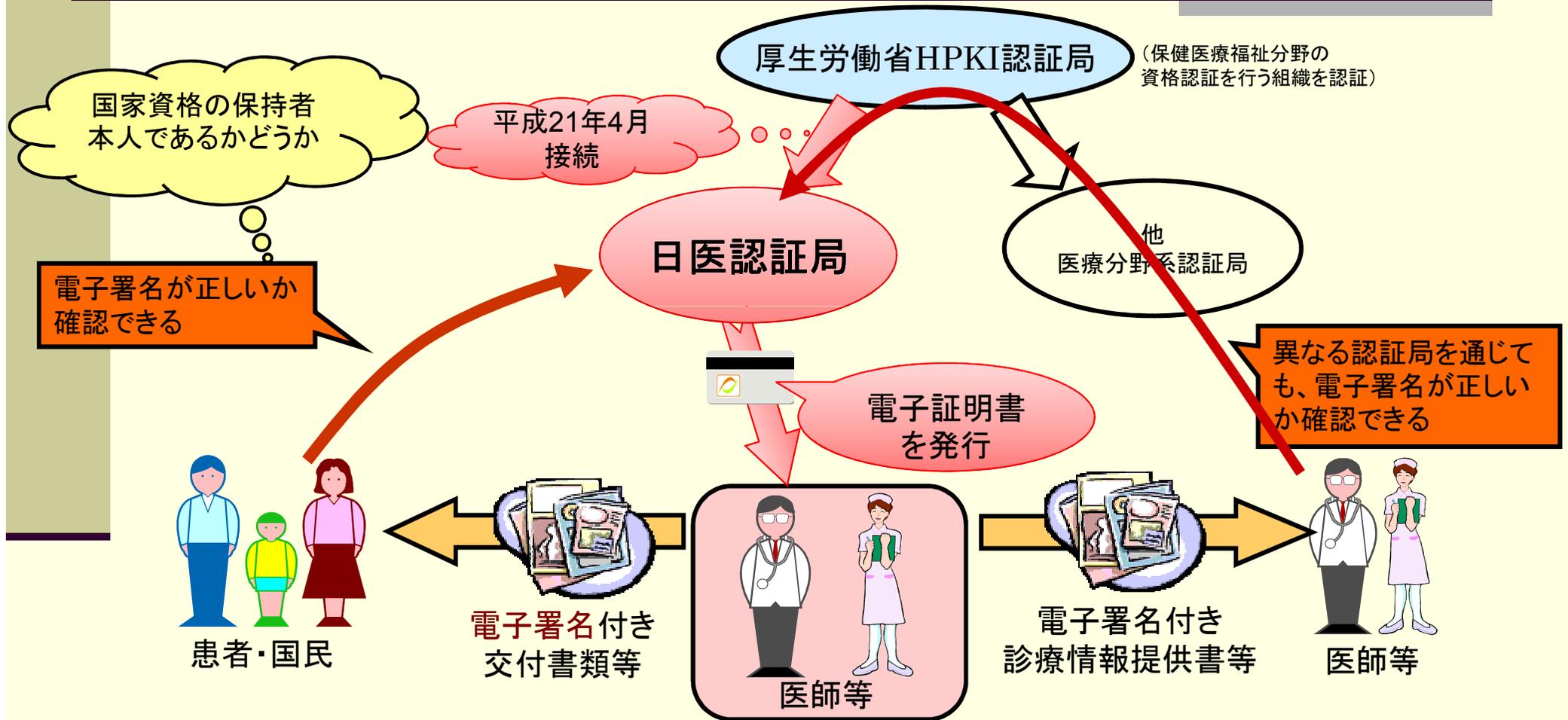


環境整備の段階から、実際の利用へ方向性を変更

日医認証局(セキュリティへの取り組み)

日医認証局は厚生労働省HPKI※認証局と平成21年4月に接続し、以下のようなことが可能となった。

※HPKI【保健医療福祉分野公開鍵基盤】Healthcare Public Key Infrastructure



電子署名を中心とした病診・診々連携、患者との連携の例

HPKIとは

HPKI【保健医療福祉分野公開鍵基盤】
Healthcare Public Key Infrastructure

- 保健医療福祉分野における資格をネットワーク上で証明することが可能な**電子署名**の公開鍵基盤
- 電子証明書に保健医療福祉分野の**国家資格**を格納
- 電子署名に組み込むことで、個人の証明と**国家資格保有の証明**が同時に可能

HPKIでターゲットとされる国家資格

資格名（国家資格、25資格）	
医師	管理栄養士
歯科医師	社会福祉士
薬剤師	介護福祉士
臨床検査技師	救急救命士
診療放射線技師	精神保健福祉士
看護師	臨床工学技師
保健師	あん摩マッサージ指圧師/ はり師/きゅう師
助産師	歯科衛生士
理学療法士	義肢装具士
作業療法士	柔道整復師
視能訓練士	衛生検査技師
言語聴覚士	介護支援専門員
歯科技工士	
資格名（医療機関の管理責任者）	
病院長	
診療所院長	
管理薬剤師	
その他の保健医療福祉機関の管理責任者	



実際の利用例と進捗中の企画

1. 実際の利用例

- 2009年12月から沖縄県浦添市医師会で利用中
沖縄県浦添市が実施している健康情報活用基盤プロジェクトの中で、医師の電子紹介状に対する押印機能として利用。浦添市医師会員へ日医認証局のICカードを配布。
- 日医治験促センターと共同実験
治験センターが、治験に関わる契約書や有害事象報告書等の電子化を推進。契約書等には、押印が必要なことから、日医認証局の電子印鑑機能を利用して実験中。実験参加医療機関及びシステム構築ベンダに対して日医認証局のテスト用ICカードを配布。

2. 進捗中の企画

- 診断書の電子化
医師の診断書を電子的に作成、送付するための企画を調整中。厚生科学研究でも同様のテーマ（診断書の電子化）があり、日医認証局の利用を調整中。
- 地域医療再生計画での日医認証局の利用
地域医療再生計画の多くでITを利用した地域医療連携があり、その中の幾つかの地域から日医認証局の利用依頼・打診がある。

※その他にも電子カルテの導入等に当たって利用できるかという様な問合せが導入ベンダなどからもあり、利用の幅が広がって来ている状態。

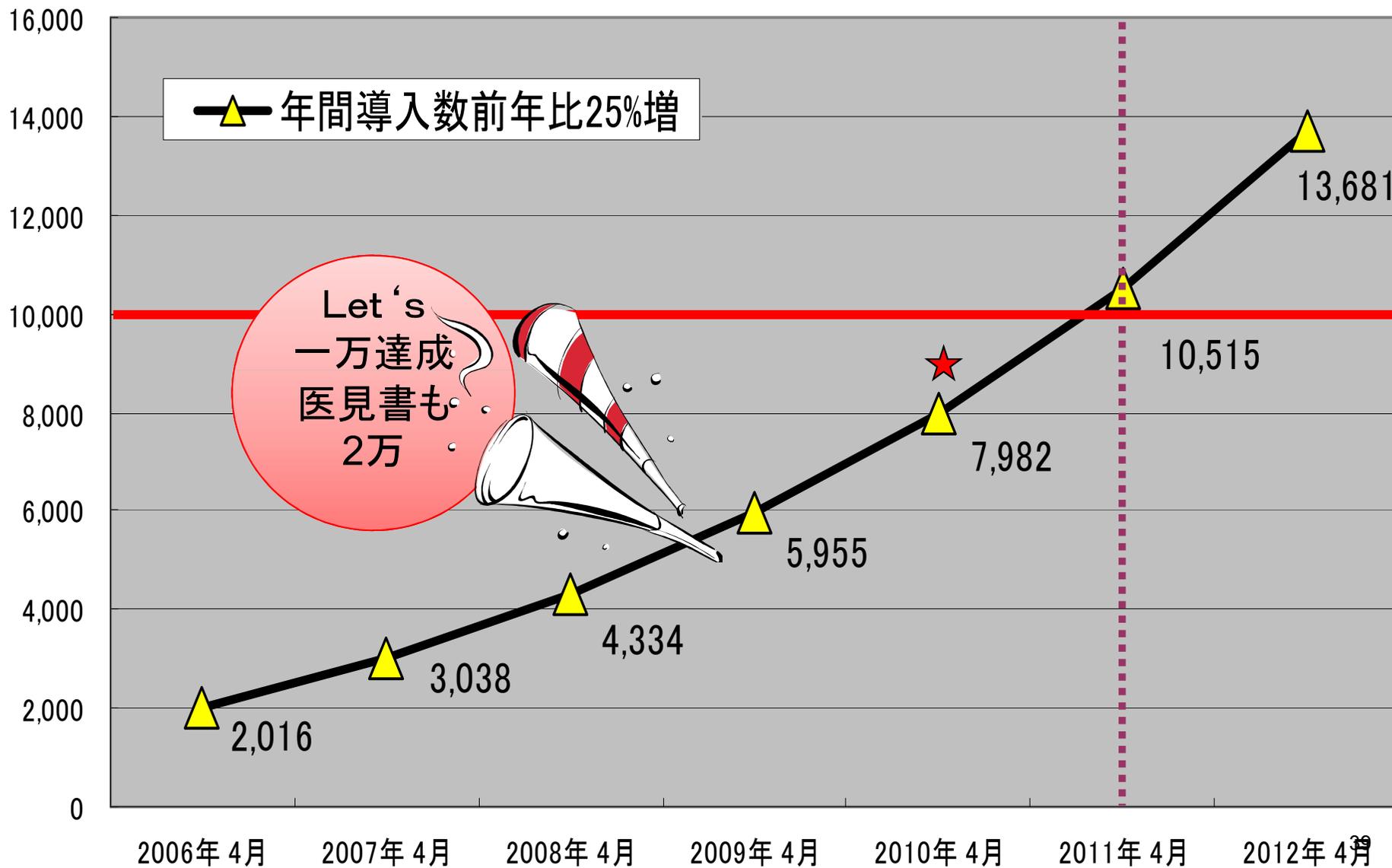
今後の医療分野での認証局活用について

現在、厚生労働省で21年度以降、以下のような手続き等について電子的な方法で扱いを可能にする、もしくは実証実験の準備をしている。この際、医師の電子署名（電子的な印鑑）が必須なため、日医認証局の利用が見込まれる。

項目	対象・書類等	内容
保険申請	医師の診断書	生命保険や入院保険等の申請の際に、電子的な診断書の取り扱いを可能にする。その際、医師の電子署名が必須。
労災保険申請	医師の診断書	労災保険の申請の際に、電子的な診断書の取り扱いを可能にする。その際、医師の電子署名が必須。
厚生労働省 オンライン 申請・届出	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年金たる保険給付の受給権者の定期報告（障害の状態にある者の場合又は傷病（補償）年金の受給権者） ■ 受給期間延長の申請（延長事由が明らかになる書類の一種として） ■ 健康保険傷病手当金請求書 ■ 健康保険被保険者配偶者出産育児一時金請求書 ■ 国民年金・厚生年金保険老齢給付裁定請求書（1級又は2級の障害の程度のある子がいる場合） ■ 国民年金・厚生年金保険年金受給権者死亡届 	左記の届け出をオンラインで受け付けるにあたり、医師の電子署名を付した書類（診断書、死亡診断書、死体検案書、意見書、死亡を確認できる書類）の提出が必須。
電子紹介状	紹介状	紹介状を電子的に作成、交付した際に現行の紙と同等の扱いとする。既に平成17年のe-文書法及びe-文書法の厚生労働省令で措置済み。ただし、電子署名が必須。
電子処方せん	処方せん	厚生労働省・経済産業省・総務省の三省連携実証で技術的要件について検証予定。（制度としての是非は別）処方せんのため、医師の電子署名が必須。

2011年 1万ユーザ達成のシミュレーション

(医療機関)



ORCAプロジェクト

<http://www.orca.med.or.jp/>

【お問い合わせ】



最寄りの日医総研日医IT認定サポート事業所へ

assist@orca.med.or.jp

日医標準レセプトソフト導入相談窓口 0120-544-170(フリーダイヤル)



日本医師会総合政策研究機構 ORCA PROJECT
Online Receipt Computer Advantage



日医標準レセプトソフト

会員の要望によって日々アップデートする医療現場主導型レセプトソフト。医療情報の標準化と共有で日本医業の向上を目指します。
メーカー主導のレセコンに不満を感じている方に。

日医標準レセプトソフト
カタログサイトへ

日医標準レセプトソフト
お試しになりたい方へ

サポート事業所
を探す

<p>日本医師会 認証局</p> <p style="text-align: center;"></p> <p style="text-align: center;">詳しくはこちらへ</p>	<p>医見書</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>H18年度改正対応・主治医意見書/訪問看護指示書作成ソフトウェアです。障害者自立支援法の「医師意見書」の作成も可能です。</p> <p style="text-align: center;">医見書 詳しくはこちらへ</p>	<p>給管鳥</p> <p style="text-align: right;"></p> <p style="text-align: center;">詳しくはこちらへ</p> <p>給付管理・介護報酬請求業務の支援</p>	<p>訪看鳥</p> <p style="text-align: right;"></p> <p style="text-align: center;">詳しくはこちらへ</p> <p>訪問看護請求業務の支援</p>
<p>オンライン請求用 オルカVPNサービス</p> <p style="text-align: center;">詳しくはこちらへ</p>	<p>定点調査研究事業</p> <p style="text-align: center;">詳しくはこちらへ</p>	<p>傷病名ガイドブック</p> <p style="text-align: center;">詳しくはこちらへ</p>	